

旅行取扱状況の概観（平成 1 9 年 9 月分）

海外旅行の取扱額では、団体旅行では、学生団体は取り扱いを伸ばし前年を上回ったが、一般団体の取り扱いが伸び悩んだため、合計では前年実績を下回る結果に終わった。企画旅行は、依然ホリデ이의取り扱いが低調で、6ヶ月連続の前年比マイナスと取り扱い不振が続いている。個人旅行は、海外航空券の取り扱い好調が牽引し、前月に引き続いての前年比プラスと好調に推移した。海外旅行合計は、企画旅行の低調が大きく影響し、前年比98.2%と前年実績に達しなかった。

国内旅行の取扱額では、団体旅行は、学生団体は取り扱い低調で大きく前年実績を下回ったが、一般団体の取り扱いが好調で前年を大きく超えたため、合計では5ヶ月連続の前年比プラスと堅調に推移した。企画旅行は、メイトの取り扱いが依然好調で、合計では4ヶ月連続の前年比プラスと好調を維持した。個人旅行では、主力商品の航空券、JR券、宿泊券の取り扱いが低調で、合計では前年実績に届かず4ヶ月連続の前年比マイナスと低迷。国内旅行合計は、団体旅行の堅調、企画旅行の好調により前年比101.4%と伸びは鈍化した3ヶ月連続の前年比プラスと堅調に推移した。

外国人旅行は、大型団体の取り扱いが全体を押し上げ、前年比169.4%と3ヶ月連続の前年実績オーバー。

この結果、9月の総取扱額は前年比101.0%と前月に続いての前年比プラスで終結した。

1. 海外旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、取り扱い件数・大型団体の取り扱い減少により、前年実績に届かず再び前年比マイナスとなった。学生団体は、修学旅行外の取り扱い好調により、前年実績をオーバーした。団体の方面別取り扱いでは、中国、香港、マレーシア、オセアニアが目立った程度。

(2) 企画旅行

ホリデ이의取扱いは、取扱額前年比91.4%、取扱人数前年比88.2%と共に前年実績を下回り、取扱額は6ヶ月連続の前年比マイナスと低迷状態。ホリデ이의方面別取り扱いでは、近場の韓国、台湾、シンガポールが好調を持続。ロングポジションでは前月に続いてハワイが前年を上回った程度。

2. 国内旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、取り扱い件数が増加しイベント関係の取り扱い好調により、大きく前年実績を超え、5ヶ月連続の前年比プラスと堅調を持続。学生団体は修学旅行の取り扱いが伸び悩んだため、前年実績を大きく下回った。

(2) 企画旅行

メイトは、取扱額で前年比107.1%、取扱人数で前年比105.8%と、取り扱いを伸ばし4ヶ月連続の前年比プラスと好調に推移した。商品別の状況では、各方面とも好調であったが、なかでも沖縄、九州、連休の増加による近場商品および関西地区商品の好調が目立った。

(以 上)